

全員協議会 会議録（要点筆記）

平成29年8月22日（火）

午後 1時30分 開会

午後 2時06分 閉会

場所 : 全員協議会室

〔上程議案の補足説明〕

1 平成28年度半田市決算に係る健全化判断比率について

滝本均総務部長：資料に基づき説明

質疑なし

2 平成28年度半田市公営企業決算に係る資金不足比率について

笠原健次総務部長：資料に基づき説明

質疑なし

3 知多南部卸売市場株式会社の経営状況について

笠井厚伸市民経済部長：資料に基づき説明

中村宗雄議員：お尋ねしたいのですけれど、半田市が筆頭株主で社長が市長だということで、数字だけ見ると3期連続で赤字、そして、売上高の6倍ほどの借入がありまして、普通の民間の会社だったら、とっくに経営破たんしているようなそんなレベルだと思うわけなのですが、肝心の経営改善をしていくには、テナントをいれるか、取扱高を増やすか、この二つしか道はないと思います。その二つともできていない中で、3期連続で赤字になって、頑張りますといっても明日が見えないこの状況の中で、社長としてどういう経営ビジョンを持っていて、どういう戦略でこの経営改善をされていくのか、税金を使ってやっていますから、個人の資本でしたら勝手にしてくれればいいのですが、いかがお考えなのでしょうか。

榊原純夫市長：ご質問の点にお答えさせていただきます。先程の担当部長の報告の中にもございましたが、北側土地の売却について、今、検討しておりまして、近々そのような方向に向け、取り組むことができますので、改めて議会の議長をはじめ皆様方にもその旨を報告させていただいた後、そういたしますと借入金の額はかなり圧縮でき、毎年の返済金の額も減ってまいりますので、大きく経営状況は変わってくるというように見込んでおります。

中村宗雄議員：ちなみに、その北側の土地というのは、一体いくらぐらいで、誰に買っていただくのでしょうか。

榊原純夫市長：まだ内々のお話でございますので、正確に決定した段階でご報告させていただきますが、概ね2億円ぐらいで売却する予定で、元々前回報告をさせていただきましたよう土中から汚染物質が出てまいりましたので、地面の下を触らなくてもいいような使用方法をされる業者さんでございます。

4 平成28～29年度 臨時福祉給付金等について

新村隆福祉部長：資料に基づき説明

質疑なし

5 半田市中心市街地活性化基金条例の制定について

笠井厚伸市民経済部長：資料に基づき説明

中川健一議員：確認なのですが、中埜産業から6,281千円の寄付をいただいて、実質的にその中で使えるお金というのは、中心市街地活性化事業等へ充当の2,488千円とクラシティへの支援事業へ充当の818千円という、半額になってしまったという理解でよろしいでしょうか。

笠井厚伸市民経済部長：この賃料収入でいきますと、そういうかたちになります。

中川健一議員：このクラシティへの支援事業というのは、ビルのマネジメント会社に対する支援事業ということなのか、3階の市役所の市民交流センターなどの部分に対する支援事業なのか、ビル全体の話なのか、どういう内容なのでしょうか。

笠井厚伸市民経済部長：これについてはビル管理会社とも話をしておりますが、クラシティの集客ができる事業について使ってほしいということでお話をさせていただいております。今のところ、秋以降に行われますクラシティの集客事業、イベント等の事業費、あるいは広告宣伝等に使っていただくということで話を進めています。

〔報告案件〕

1 半田市立半田病院の移転新築予定地を問う住民投票条例制定の直接請求について

竹部益世企画部長：資料に基づき説明

2 市税等収納向上対策について

滝本均総務部長：資料に基づき説明

3 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書について

小坂和正教育部長：資料に基づき説明

中川健一議員：レポートの中身についてお尋ねをしたいと思います。評価項目のことなのですが、例えば、学校施設の整備を促進するという項目で、外部評価も自己評価も一重丸、おおむね順調であるという内容になっているのですが、実際に半田市内の小中学校はエアコンもついていなければ、トイレの様式化も進んでいないし、窓も飛散防止のフィルムが貼ったままとか、むしろ遅れている、問題があるのが現状ではないかと思えます。なぜこれでおおむね順調であるという評価になっているのかご説明をいただければと思います。もう一つ、文化財の保護のところ、自己評価はおおむねということなのですが、外部評価については、林先生は非常によいというところで、林先生は何をこのように評価したのかが分ればと思います。僕は基本的に、半田市は文化財の保護というのは遅れていると思っているのです。蔵の保存はなかなかやらないし、中埜

半六邸も一回壊そうとして市民の保護運動によって、市民のおかげで残しているというのが実態なのです。半田市は文化財保護が遅れているにもかかわらず、なぜ、先生は二重丸なのかという疑問がありましたので、二点よろしくお願ひします。

小坂和正教育部長：視点の違いというのもあると思うのですが、28年度に取り組んだ内容、成果、課題、問題点というところについての評価という意味合いで、28年度には天井の改修等を実施いたしましたし、28年度に取り組んだ施策については順調に実施できたというところで、順調であるという評価をいただいたものです。文化財のところ、林先生がどういう視点でということですが、文化財保護事業については、昨年度はユネスコ登録という大きなものがありました。市に登録されている文化財の保護だとか亀崎潮干祭のユネスコ登録といった一連の事業がよくできたということで、先生からは二重丸の評価をいただいたと思います。